

三ノ宮地区内の遺跡

三ノ宮・下尾崎遺跡 / 上栗原遺跡
下尾崎遺跡は北東約 900m、三ノ宮比々多神社の西側に、上栗原遺跡は北に約 400mの場所に位置します。

下尾崎遺跡では、横穴墓 26 基、窯状遺構 1 基を、上栗原遺跡では 15 基の横穴墓が発見されています。これら横穴墓の入り口には石積みを設けているものが多く、遺体を埋葬する玄室内には石が敷き詰められていました。



三ノ宮・上栗原遺跡第 4 号・第 5 号横穴墓前庭部石積施設



※各遺跡の解説には、三ノ宮・中尾根山遺跡からの方位と距離を示しています

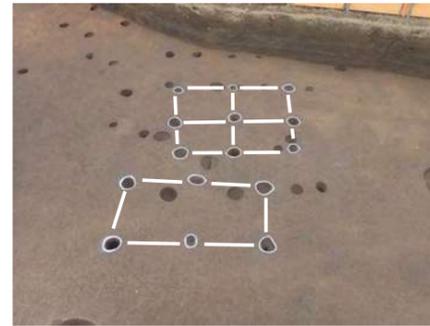


伊勢原市三ノ宮

三ノ宮・中尾根山 / 上入増遺跡 令和 6 年度 作業見学会配布資料

2024(令和 6)年 5 月 18 日開催

かながわ考古学財団では伊勢原市三ノ宮地区で、令和 5 年 11 月より厚木秦野道路建設事業に伴う遺跡の記録保存のための発掘調査を実施しています。私たちが日々どのような作業をしているのか、これまでの弥生時代後期から江戸時代までの調査の成果とあわせてご紹介します。



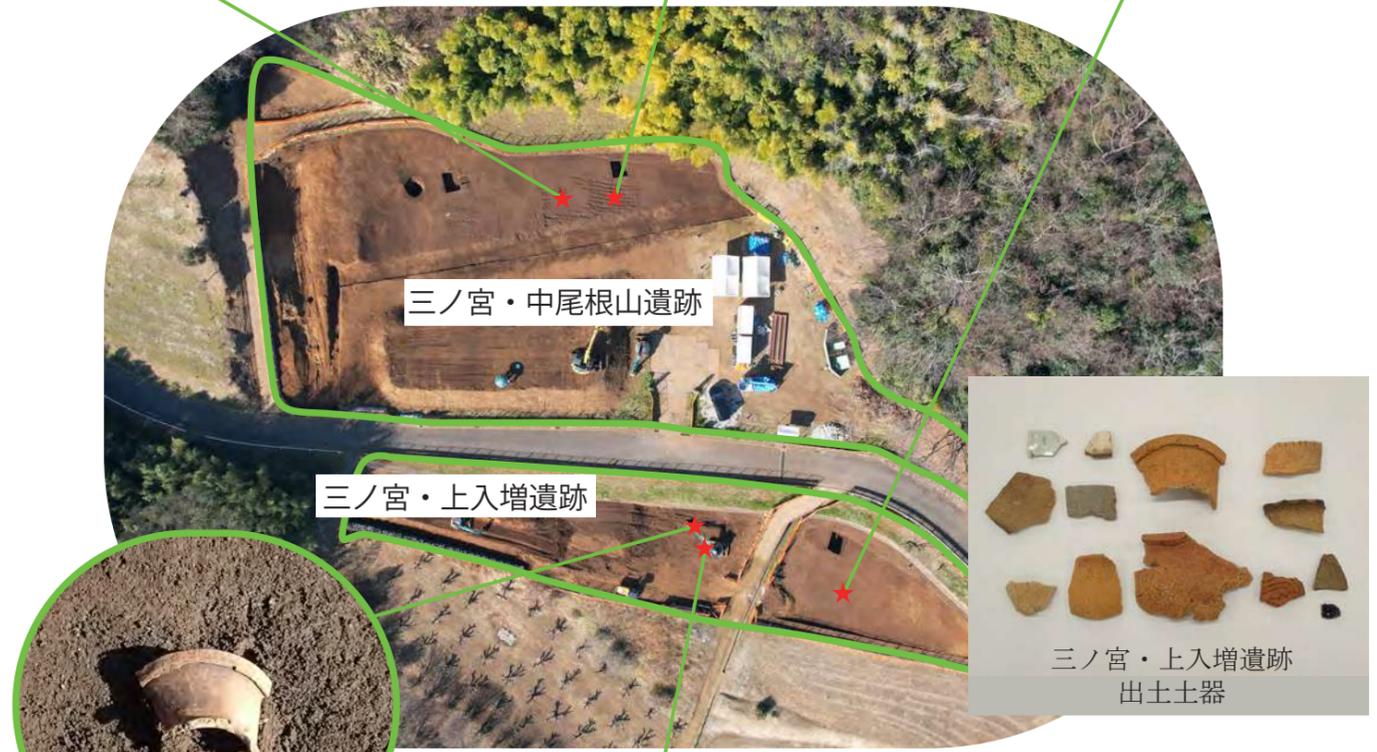
中世の掘立柱建物の柱穴跡



江戸時代の耕作痕と考えられる畝跡



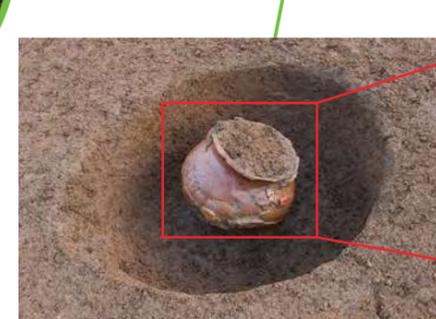
弥生時代終末期～古墳時代初頭の
竪穴住居跡



三ノ宮・上入増遺跡
出土土器



古墳時代の土器



弥生時代終末期～古墳時代初頭の
土器



一般国道 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う伊勢原市上粕屋石倉中地区の埋蔵文化財調査

三ノ宮・中尾根山 / 上入増遺跡 令和 6 年度 作業見学会配布資料

2024(令和 6)年 5 月 18 日

公益財団法人かながわ考古学財団

〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 3-191-1

☎ 045-252-8689 (代) URL : <https://www.kaf.or.jp>



Home Page



X (旧 Twitter)



Facebook

遺跡調査の流れ

遺跡はそのまま現地保存が難しいので、記録をとって報告書を刊行することで、そこにどのような遺跡があったのかを後世に伝えます。

どのようにして遺跡の調査が行われるのか、順を追って説明します。

①機械による表土（現代の土）の掘削



調査開始前の状況



機械による表土掘削

遺跡の調査が始まると、油圧ショベル等の建設重機で現代の土を剥いでいきます。

②遺構の検出と掘削



遺構検出



使う道具

古い地面が現れると鋤簾や三角ホーといった農作業に使う道具を使って、薄く慎重に土を剥ぎながら地面を観察します。一度掘られた跡には周りの地面の土とは異なる土が含まれています。そのため、そこだけシミのようにうっすら形が見えます。慎重に精査していき、住居跡や、耕作痕といった遺構を探します。その作業を各時代ごとに繰り返します。



遺構の確認



遺構掘削

写真は移植ごてを使って掘っています。時にはお玉やスプーンなど現代の生活道具も使い、工夫しながら掘り進めていきます。

③遺構の調査



①遺構を見つけました。
②のように土の堆積の様子を観察・記録ができるように一部を残して掘り下げていきます。

③掘りあがりました。
掘りあがったら遺構の大きさ、深さ、どのようにして埋まっていたのかなどを記録していきます。

土の堆積状況を実測図化しています

出土した遺構・遺物が地球上のどこにあるのか（緯度・経度・海拔）を機械を使って計測します

④写真撮影



ローリングタワー（左）と高所作業車（右）での撮影の様子

遺構を検出したり、遺物が出土したらその状況を写真でも記録をします。時にはローリングタワーや高所作業車などを用いて高いところから全体が写るように撮影を行います。

調査がおわると出土した遺物を洗浄し、取得したデータを整理したのち、その成果を発掘調査報告書として刊行することで、調査結果を周知します。



発掘調査報告書